

令和2年度 事業報告

1. 事業概要

令和2年度は、理事長が高松理事長から米村理事長に交代し、新体制のもと「人生100年時代」に向けて新たなスタートを切った。

また、当センターの5年間の基本目標を定めた「中期基本計画」（平成28年度～令和2年度）の最終年度でもあった。総会は新型コロナウイルス感染防止のため会場を変更し、規模を縮小して開催したが、その後の普及啓発活動やボランティア活動を中止するなど、シルバー事業にも少なからず影響があり、会員数、契約金額を除く就業実人員、受注件数は中期基本計画の目標値を達成することはできなかった。

会員数については、企業の定年延長や継続雇用、雇用情勢の改善等の影響から会員拡大は厳しい状況であったが、当センターが1年半前から実施している新規入会者促進キャンペーンが奏功し、基本計画修正後の目標値を達成し、年度末の会員数は2年続けての増加となった。

事業実績では、当センターの受注の中心である剪定、草刈り、除草、障子・襖張りなどの請負事業は、前年度の消費税引き上げ前の駆け込み需要の反動が一部見られたが、新型コロナウイルスの影響は小さく、特に剪定や除草作業では依頼を受けてから1ヶ月以上待ちの状況が続いた。

また、市からの介護予防・日常生活支援総合事業に本格的に取り組んだほか、産後ケア事業にも対応した。

今年度はコロナ禍、猛暑にもかかわらず会員の感染対策の徹底と頑張りにより、受注件数は目標値を達成できなかったものの前年度並みの1,998件、契約金額は公共事業、個人・家庭からは若干減少したが、一般企業等が大幅に増加したことから、前年度より2.9%増の63,546千円となり目標値を達成できた。

派遣事業については、4月から施行された改正労働者派遣法への対応を行い、順調にスタートを切ることができたが、その後は新型コロナウイルスの感染拡大により、イベント事業、クルーズ船関係の派遣はすべてキャンセルとなった。また、国の緊急事態宣言が発令された4月以降は、観光客相手の飲食店関係を中心に営業自粛や休業等が相次ぎ、大きな影響を受けた。

その一方で、新たに幼稚園の清掃・洗濯業務や年末の人出不足による水産物の梱包業務を受注した。受注件数は前年度より22.2%減の14件、契約金額は前年度より11.1%減の7,280千円となった。

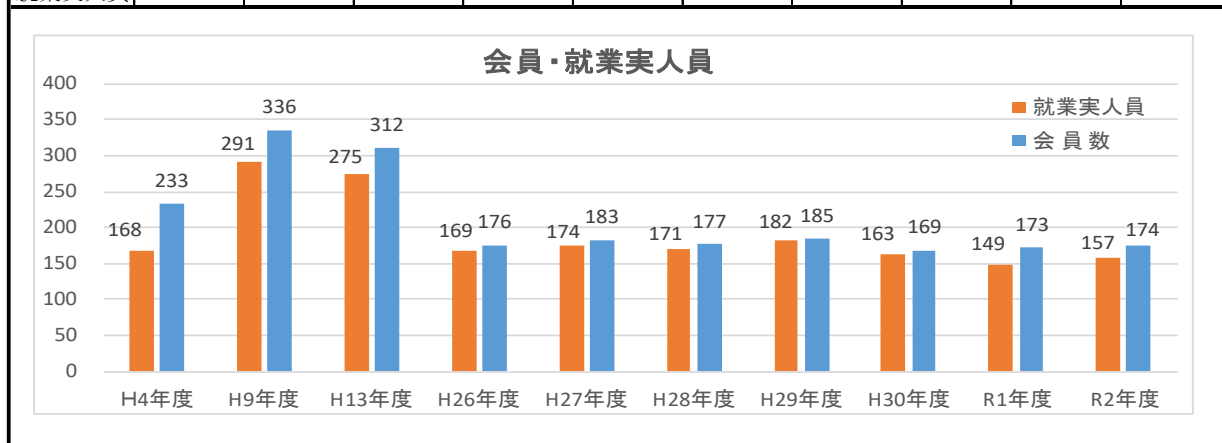
その他、センターでは就業内容の充実や改善、会員の資質の向上等を図るため、平成29年度以来となる利用者へのアンケート調査を7月～8月に実施し、今回初めて職群ごとの分析を行った。作業内容については、満足・普通が97%で引き続き良好であったが、一部不満の回答・意見があり、アンケート結果を会報で全会員に周知したほか、会員との意見交換会で改善・注意事項について指導を行った。

以下、令和2年度の事業実施状況を項目ごとに報告する。

2. 事業実施状況

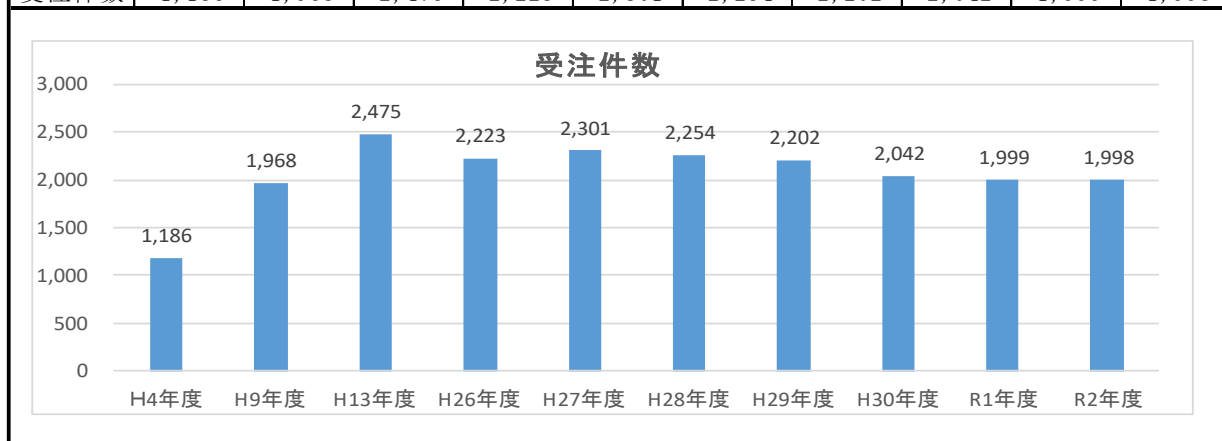
(1) 総括（事業実績の推移）

	H4年度	H9年度	H13年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
会員数	233	336	312	176	183	177	185	169	173	174
就業実人員	168	291	275	169	174	171	182	163	149	157



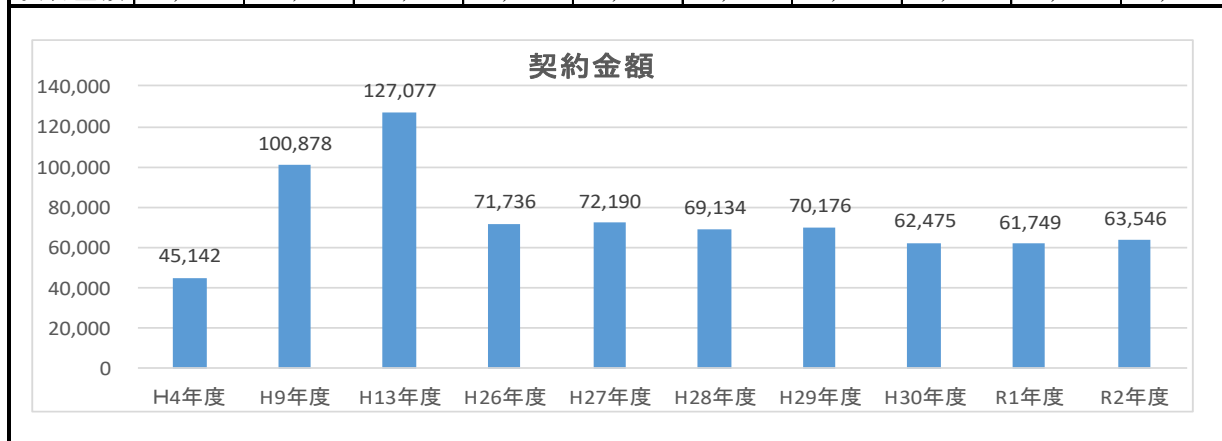
(単位: 件)

	H4年度	H9年度	H13年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
受注件数	1,186	1,968	2,475	2,223	2,301	2,254	2,202	2,042	1,999	1,998



(単位: 千円)

	H4年度	H9年度	H13年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
契約金額	45,142	100,878	127,077	71,736	72,190	69,134	70,176	62,475	61,749	63,546



(2) 会員の拡大

当センターの最重要課題と位置づけ、鳥取県シルバー人材センター連合会と連携して会員拡大に取り組んだ。また、当センターでは昨年度に引き続き新規入会者促進キャンペーンを実施したほか、機会を捉えてPR活動を行ったが、毎年実施している普及啓発活動は新型コロナウイルス感染防止のため中止した。令和2年度末の会員数は2年続けて増の174人となり、昨年度に引き続き中期基本計画の修正後の目標値（会員数169人）を達成することができた。

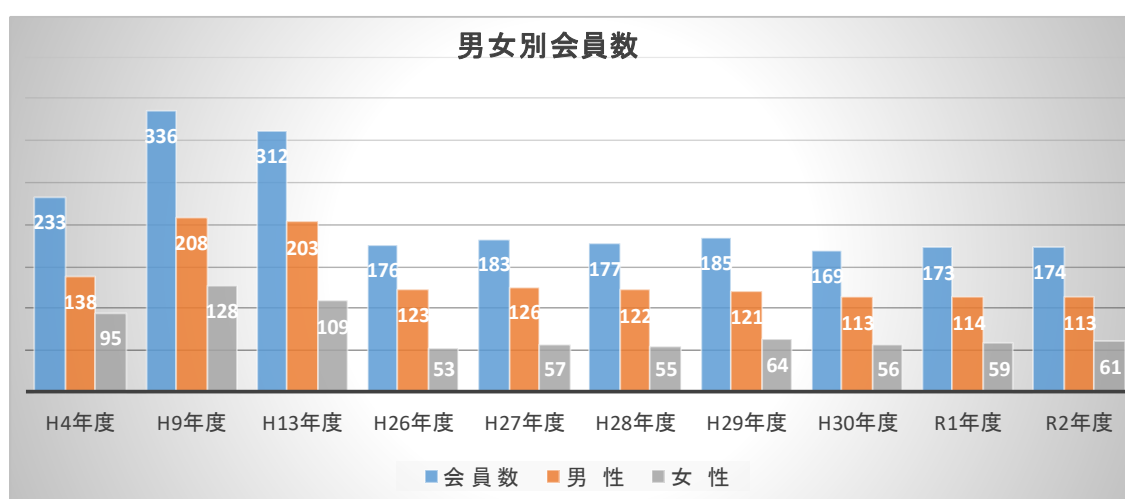
【主な取り組み】

- 草刈・剪定技能講習（連合会と共同事業）
- 整理・収納基礎講習（連合会と共同事業）
- 介護補助講習（連合会と共同事業）
- 傾聴スキル講習（連合会と共同事業）
- テレビCM（川柳）放映等（連合会と共同事業）
- 新規入会者促進キャンペーンの実施（入会者23人中13人がキャンペーン対象者）
- 市報に会員募集チラシの折り込み（11月）
- 網戸・障子・襖張り講習会の実施（2月）

<会員数の推移>

(単位:人)

	H4年度	H9年度	H13年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
会員数	233	336	312	176	183	177	185	169	173	174
男性	138	208	203	123	126	122	121	113	114	113
女性	95	128	109	53	57	55	64	56	59	61



(3) 就業開拓の促進

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、事業所の営業自粛や休業、事業規模の縮小による影響を受けたが、その一方で人手不足等による新たな業務を受注した。

会員の就業機会を確保するため、鳥取県シルバー人材センター連合会と連携して、市報や新聞折込みを行ったほか、商工会議所ニュースにシルバー人材センターを紹介する記事を掲載した。また、官公庁や事業所を訪問し、就業機会の継続・拡大を要望した。

(主な新規事業)

- 幼稚園の洗濯・清掃・片付け等業務
- 水産品梱包等業務
- 介護予防・日常生活支援総合事業（市）

【主な取り組み】

- 市報、新聞への折り込み
- 商工会議所ニュースに広告
- ポスター掲示
- 官公庁、事業所訪問
- アンケート調査の実施

(4) 安全就業の徹底

安全就業については、これまでの取り組みに加え、新型コロナウイルス感染防止、熱中症対策について会員に周知した。また、賠償事故に免責額を設定し、会員自らの安全意識の高揚を図ったが、保険対象の傷害事故3件、賠償事故3件発生したほか、保険対象にならない賠償事故も多発したことから、8月末に賠償事故多発警報を発令し、会員へ事故防止の注意喚起を図った。

【主な取り組み】

- 安全・適正就業推進委員会を開催
- 安全・適正就業推進委員長、事務局職員、連合会の安全・適正就業指導員による安全パトロールを実施（7月、11月）
- 会員就業規約を改正し、賠償事故に1万円の免責を設定（6月）
- 賠償事故多発警報を発令し、注意喚起を実施（8月）
- 新型コロナウイルス感染予防・拡大防止、熱中症対策等文書を送付（3回）
- 会員との意見交換会において、安全・適正就業委員長から安全就業について説明
- 飛石対策として刈払機の刈刃を比較検討し、新年度から試行

< 傷害事故の発生状況 >

業 種	事故発生日	状 況	保険金給付額
除 草	R2.06.17	ケムシ刺され	4,000 円
除 草	R2.07.31	ハチ刺され	2,000 円
除 草	R2.09.14	ハチ刺され	2,000 円

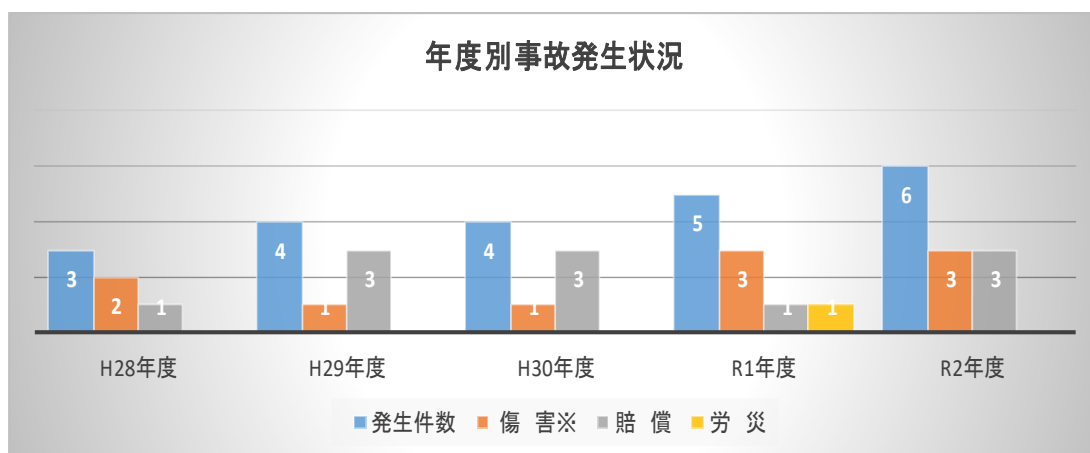
< 賠償事故の発生状況 >

業 種	事故発生日	状 況	保険金給付額
刈払い	R2.04.15	飛石で車の窓ガラスの破損とボディにキズ	432,223 円
海 浜	R2.07.21	機械を使って車止めを外そうとして舗装を損傷	88,000 円
刈払い	R2.09.20	飛石で車の窓ガラスの破損とボディにキズ	250,000 円

< 年度別事故件数の推移 >

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
発生件数	3	4	4	5	6
傷 害※	2	1	1	3	3
賠 償	1	3	3	1	3
労 災				1	

※熱中症を含む。



(5) 適正就業の徹底

「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」は会員の働き方に係る重要な指針であり、公益法人として法令順守の立場から、適正就業ガイドラインに沿った業務運営を行った。

鳥取県シルバー人材センター連合会からの指導事項について、新年度から契約内容の一部を見直す。

【主な取り組み】

- 請負事業の契約内容等の見直し

(6) 健全で安定した財政基盤の確立

新型コロナウイルス感染拡大による受注減少を考慮し、事務経費の節減に努めたほか、令和3年4月1日から施行される同一労働・同一賃金に対応するため、職員・嘱託職員の給与規程や就業規則の改正等を行った。

また、向こう5年間の当センターの事業運営等の指針となる第2次中期基本計画（令和3年度～令和7年度）を策定した。

【主な取り組み】

- 職員・嘱託職員の給与規程・就業規則の改正
- 会計規程を改正し、チェック体制を強化
- 事務経費等の節減
- 事業量を確保するため、官公庁や事業所を訪問し、シルバー事業の確保・拡大を要望
- 第2次中期基本計画（R3年度～R7年度）の策定

- 中期基本計画の達成状況は次の通りである。

<基本目標値（努力目標）>

区 分	1年目 (H28)	2年目 (H29)	3年目 (H30)	4年目 (R1)	5年目 (R2)	備 考
正会員数 (人)	181 (177)	185 (185)	189 (169)	169 (173)	169 (174)	目標を達成
就 業 実人員数 (人)	172 (171)	176 (182)	180 (163)	163 (149)	163 (157)	
受注件数	2,311 (2,254)	2,321 (2,202)	2,212 (2,042)	2,042 (1,999)	2,042 (1,998)	
契約金額 (千円)	73,634 (69,134)	75,107 (70,176)	71,570 (62,475)	62,475 (61,749)	62,475 (63,546)	目標を達成

※派遣就業は除く。

※下段（ ）は実績

※正会員数は、平成28年度定時総会（平成28年5月）時点の177人を現状値として算定、就業実人員数もこれにより按分

※4年目、5年目数値は、平成30年度に現状を踏まえて目標値を下方修正